

海老名市立わかば学園 支援プログラム（療育相談）

法人理念	1 障がい児・者、高齢者のノーマライゼーションの実現から「ソーシャルインクルージョン」（共生社会）を目指します。 2 社会・福祉・介護ニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開します。		
支援方針	・利用児童一人ひとりの年齢と発達に応じた、さまざまな療育プログラムを提供し、発達の促しをサポートしていきます。 ・家族には、生活上のアドバイスを一緒に考えて行い、家族が安心して子育てができる様に支援します。		
営業時間	9：30～17：30 個別療育 月1回（50分） グループ療育 月1～2回（90分）	送迎実施の有無	有り

項目		支援内容
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時等の健康観察 ・食具の操作の練習（運動・感覚） ・家庭以外のトイレにも慣れる
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動：サーキットやマット歩き、トランポリン、布ブランコ等を通して、歩く・走る・くぐる・またぐ・しゃがむ・跳ぶ・バランスを取る等に取り組む。 ・微細運動：ボール遊びやぬいぐるみ引っ張り、棒つかまり、新聞紙遊び等を通して、握る・投げる・引っ張る・破る等に取り組む。 ・ボール・フープ・ゴム・棒・ロープ・スクーターボード等の道具を使って身体を動かす。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールや手順書等の視覚的な手掛かりを使う事で「いつ」「何を」「どの様にやるのか」等を分かりやすく伝える。 ・机上課題（マッチング、プットイン、型はめ、数の理解、色の理解、大小比較など） ・集まりへの参加（呼名への応答、絵本やペープサートへの注目等）
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊びを通して、要求や拒否、ヘルプの気持ちを伝えるサポートをする。 （表情や行動、ジェスチャー、発声や言葉等） ・好きなものややりたい事を選択する機会を設ける。 （必要に応じて、実物や写真、イラスト等の視覚的な手掛かりを使用） ・文字や数字等に触れる。 （マッチングやなぞり書き、文字を書く、手順書の使用等） ・職員とやりとりをしながら活動に取り組んだり、遊ぶ機会を設ける。 ・友だちとやりとりをしながら活動に取り組んだり、遊べる様に支援する。 （必要に応じて大人が間に入り、気持ちを代弁したり、やりとりに必要な表現を伝える）
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や自由遊びを通して、好きな事や得意な事を見つける。 ・職員や友だちと遊ぶ機会を設ける。 （場の共有・物の共有や貸し借り・設定の共有等） ・ルールのある遊びに取り組む。 （ルール理解・勝敗・役割の交代等） ・興奮したり、思い通りにならなかった際の気持ちを切り替える方法を見つける。 （部屋や場面を変える・大人に気持ちを伝える等） ・クールダウン方法を見つける。 （その場から離れる・部屋の隅に行く・好きな感触に触れる等）

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 療育相談内での面談および必要に応じて別日に面談 幼稚園、保育園、他事業所との連携 各種情報提供
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学の際の小学校との引継ぎ 幼稚園、保育園等への出張療育相談 転居に伴う引継ぎ（年長児対象）就学相談の説明会
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園での活動 幼稚園、保育園等へ出張療育相談
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 支援スキル研修（ムーブメント研修、ケース検討、外部研修など） 事業所内研修（虐待防止研修、感染症防止研修など） ブックレポート
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 個別／グループ内での季節の活動（夏祭り・ハロウィン・クリスマス等）

2025年1月26日 作成

2026年2月25日 更新